

世界のデング熱流行状況(更新 8)

2012年5月7日 ProMED 情報

(1) インド(グジャラート Gujarat 州アーメダーバード Ahmedabad) (5月5日)

今年1~4月の患者数が60名になりました。昨年同期は48名でした。

(2) フィリピン(ミンダナオ島サンボアング Zamboanga 市) (5月4日)

今年に入り、5月3日現在、患者数は流行に達するまでわずか100名足りない654名に達しています。9名が死亡しています。昨年同期は患者数は200名をわずかに超えた程度でした。昨年は14名が死亡しています。

(3) 台湾(5月7日)

5月6日、疾病管理予防センター(CDC)によると、今シーズンに入り、初めて土着のデング熱患者が報告されました。台南市北部のDagang村の40代の女性です。ここ数年、6~8月に流行しています。今年の報告日は例年より早く、輸入例も、昨年同期の24名の2倍以上の58名になっています。

(4) エクアドル

全国(5月6日) 同国内でデングウイルスの4つの血清型が確認されています。第17週までに6,170名の患者が報告され、そのうち100名はデング出血熱です。昨年は17県からの報告でしたが、今年は24県で、ガラパゴス諸島でも4名が報告されています。5月4日現在、マナビ Manabi 県は、患者数が2番目に多く、さらに死亡患者数も1番多く、国中の死亡患者14名のうち7名が報告されています。マンタ Manta とポルトビエホ Portoviejo 地区では39名のデング出血熱が発生し、最も危険な地区となっています。

流行している県(5月4日) グアヤス Guayas 県で4名、マナビ県で5名、サント・ドミンゴ Santo Domingo 県で1名が死亡しています。グアヤス県では患者1,699名とデング出血熱患者42名、マナビ県ではそれぞれ1,439名と32名、ロス・リオス Los Rios 県は1,130名と2名、エル・オロ El Oro 県では778名と1名が報告されています。

(5) パラグアイ(5月4日)

保健省によると、国内の患者19,298名のうち10,827名が検査陽性で、死亡患者30名が報告されています。首都アスンシオン Asuncion ではデングウイルス2型と4型が流行し、13,000名以上の患者が報告されています。

(6) ドミニカ共和国(5月5日)

患者381名と死亡患者2名が報告されています。プエルト・プラタ Puert Plata 州、モンセニョール・ノウエル Monsenor Nouel 州、サント・ドミンゴ Santo Domingo 州、Distrito Nacional 州、マリア・トリニダー・サンチェス Maria Trinidad Sanchez 州、エスパイジャト Espailat 州、Valverde バルベルデ州、ドウアルテ Duarte 州で流行しています。

(7) クック諸島(5月4日)

ラトンガ Ratonga 島で3名の患者が報告されました。2009年以来の発生です。

(8) イエメン(ホデイダ Hodeida 県) (5月3日)

Al-Lohaia 地区の Deer AL-Dokhna 村で67名の疑い患者のうち12名を検査したところ4名が陽性でした。死亡患者は出ていません。